

すみれ乳児院だより94号

2024年10月1日発行

大阪市旭区新森7丁目8-16

発行責任者 施設長 菅野 由美子



日頃よりすみれ乳児院へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。秋が深まり、朝晩の冷え込みが少しずつ感じられる季節となりました。今年も残りわずかとなり、2024年も終盤を迎えます。乳児院を取り巻く環境も近年大きく変化してきており、私たちもその変化に柔軟に対応しながら子どもたち一人ひとりが健やかに成長し、安心して安全に過ごすことができる環境を整えるため、さまざまな取り組みをすすめております。みなさまからのご支援に深く感謝しつつ、子どもたちにとってより良い環境を整えるべく努めてまいります。

近年の自然災害の頻発に伴い、すみれ乳児院では防災対策の見直しと強化を進めています。地震や台風、大雨など、いつどこで起こるか分からない災害に対し、施設として万全に備えることが大切です。定期的な防災訓練や防災食の訓練、9月には炊き出

し訓練を実施し、子どもたちの安全を守るための準備と訓練をすすめています。8月には九州での地震や大阪府内広域での停電が発生し、みなさまにも多くの不安があったことと思います。ご家庭でも日頃からの備えを万全にし、防災対策や緊急時の対応方法をご確認いただければ幸いです。

また、季節の変わり目でもあるこの時期は、風邪や感染症が流行しやすくなります。子どもたちの健康管理に一層気を配り、感染症対策を徹底しております。涼しくなり過ごしやすい秋の気候の中、子どもたちが外で遊ぶ機会も増え、元気いっぱい季節の変化を感じながら成長しています。

今後とも、みなさまのご支援をいただきながら、さらなる支援の向上を目指してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。みなさまの健康と安全を心よりお祈り申し上げます。

すみれ乳児院 副施設長 野本

ワクワク体験がいっぱいの夏

新生児から幅広い月齢の子どもたちが生活しているきいろグループ。
子どもたちと職員とで、今年も夏ならではの“ワクワク”をたくさん経験しました。

まずは、夏祭り。近隣施設や地域のお祭りに参加したり、院内のホールで『納涼交流会』を開催しました。特に納涼交流会でのスイカ割りは印象的だったようで、食事の時間にスイカが出てくるたび「スイカ割り楽しかったね」と思い出している子どもたちです。



また、院内で花火鑑賞も行いました。去年の花火を1年経っても覚えていて、「花火したね～」と日頃から口にしていた子どもたち。いざ花火を目の前にするとびっくりして泣き出してしまう子もいれば、去年は怖がっていたのに今年は楽しそうにはしゃいで見ている子もおり…様々な姿がありました。“楽しい”や“ちょっと怖い”など、子どもたちの色々な思いに共感しながら夏の一夜を過ごしました。他にも、プール遊びや流しそうめん、夏野菜の栽培やカブトムシの飼育などに取り組みました。子どもたちが暑い夏を元気に乗り切れるよう健康管理に努めるとともに、“できた”や“頑張った”“楽しかった”があふれる毎日になるよう、日々工夫しながら楽しく過ごしています。

きいろグループ 河野



神戸アンパンマンミュージアムに 行ってきました！！

乳児院ではアンパンマンが好きな子どもが多く、実際に会い触れたり感じたりできるアンパンマンミュージアムに一緒に行けたらいいなと計画を立てました。

子どもたちにアンパンマンミュージアムに行くことを伝えると「いつ行くの?」「早く行きたい」ととても喜んで、「あと2回寝たら電車乗って、アンパンマン行くねん」と当日を心待ちにしていました。

当日は「行ってきまーす!」と元気いっぱいに出発し、「もうすぐ着く?」「楽しみだね」とワクワクしながら電車に乗って行きました。



館内ではバイキンマンの秘密基地に入ったり、SLマンの列車に乗ったり一人ひとりの興味に合わせて館内を見て回りました。一番楽しみにしていたキャラクターショーでは音楽に合わせて一緒に手拍子したり、ダンスを真似して踊り楽しみました。お土産コーナーでは、キーホルダーやサングラスを自分でじっくり選んで購入することができました。帰る時間になると「まだ帰らない、もっと遊ぶ!」と言う子どもたちの姿を見て、今日のような楽しい機会をたくさん作っていきなさいなと思いました。帰ってきてからも「アンパンマン行ったね!また行こうね」と楽しかったことをたくさん話してくれました。

あおグループ 門川





里親支援期間“mikata”

～相互交流からの学び～



里親支援機関 mikata では里親との交流を目的に「mikata de ^{まるまる}〇〇」を毎年開催しています。今回は「子どもたちを心とからだの主人公に」をテーマに性についての学習会を行いました。千住真理子先生から“性教育にはまず自己肯定感（自分が自分らしくあってよい自信）を育てる関わりがとても大切”という話から関わりのポイントを教えてもらいました。子どもの話は否定せず最後まで聞き、「私は～と思うよ」とメッセージで返事をする。子どもの気持ちに共感する言葉や「助かったよ、ありがとう」などの言葉をシャワーのように浴びせることを心掛ける。そうした関わりで子ども自身が「大切にされている」と感じることができ「意欲」が育つというものでした。共感する言葉は「うれしい・暑いね・きれいだね」など形容詞を使い、子どもの気持ちに寄り添った言葉を返していくことがコツです。そして、小さい子であればひざに座らせて絵本を読んであげること、少し大きくなるとハンドマッサージをしながら話を聞くなど1対1で関わる時間を持つこともおすすめされていました。他にも「体を拭くよ」「カバンを開けてもいいかな」と声を掛けるなど、あなたのからだ・こころ・持ち物すべてがあなたの物で、『主人公はあなた』という関わる大人の人権感覚が大切だという話もありました。自分自身が大切にされた経験がないと、自分も相手も大切にできません。日々の関りのひとつひとつが子どもの心の土台を作るということを頭に置いて、できることから取り組んでいきたいと思いました。

里親支援機関 mikata 奥山

いらっしゃいませ!

初めての

ゆりぐみ

お店屋さん



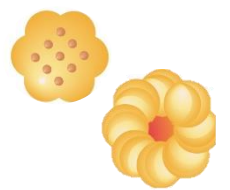
保育室「ゆり組」には各ホームから月齢の高い子どもたちが通っています。前半期と後半期に分けてメニューを決めた上で遊びの時間の充実をはかり、計画的で系統的な保育を行っています。また子どもたちの集団づくりも意識して取り組んでいます。

今年度は前半期の取り組みとして“お店屋さんごっこ”を行いました。子どもたちが店員になり、ホームの子どもたちや職員がお客さんになります。日頃から子どもたちは自分で作ったものを「どうぞ」と渡してくれることがよくあり、お店の店員になると楽しいのではないかと感じていました。また、ゆり組での子どもたちの様子をいろんな人に見てもらいたいという思いもあり、実施しました。

案内を作って各ホームへ配り、当日着用するエプロンを自分たちで作り、販売するおもちゃやお菓子も子どもたちと一緒に考えました。初めは緊張していましたが、次第に店員になりきり、買い物に来てくれたお客さんへお菓子を渡すことができました。途中からは笑顔も見られ、終わってから感想を聞くとみんな口をそろえて「楽しかった!」と言っていました。

初めての取り組みだったため、子どもたちも大人も緊張していましたが、お店屋さんを最後まで頑張る姿が見られました。また、子どもたちが主役となって輝いている姿をホームのみんなにも見てもらえて良かったです。これからも子どもたちが輝ける機会を作っていきたいと思います。

ゆり組 北出



いただきます～す！

材 料

(4人分)

揚げない白身魚のチーズフライ

- ・タラ…4切れ (カレイ、鮭、アジなど、切り身の魚なら何でもOK)
- ・塩…少々 ・小麦粉…大さじ2 ・溶き卵…卵1個+水大さじ2
- 【オイルパン粉】・粉チーズ…大さじ1 ・パン粉…1/2カップ ・油…大さじ3
- 【ソース】・とんかつソース、ヨーグルト、ケチャップ…各小さじ1を混ぜる



作り方

- ① 魚に軽く塩を振って下味をつける。
- ② 【オイルパン粉を作る】
ボウルに粉チーズとパン粉を入れ、油を加えてしっかり混ぜて油をしみこませる。
魚の水気をキッチンペーパーで拭く。小麦粉・溶き卵・オイルパン粉の順に衣を付ける。
- ③ アルミホイルを敷いて、②を並べる。トースターに入れて8～15分加熱する。
パン粉に香ばしい焼き色が付いたらOK。お皿に乗せてソースを添えて出来上がり。

※溶き卵はマヨネーズで代用OKです。詳しい作り方はInstagramをご覧ください。

給食部 中村



後援会からのお願い

すみれ乳児院が所属する「社会福祉法人 大阪福祉事業財団」は、大阪府下に24の福祉施設を持っています。大阪福祉事業財団後援会では、各施設の増改築や新しい施設づくりなどの事業に協力し、会員相互の交流を深めながら権利としての社会福祉の実現をめざす取り組みを進めています。

後援会では皆様の物心両面にわたるご支援・ご協力を必要としております。

*個人会員 1口 3,000円

*団体会員 1口 10,000円

既に入会して頂いている方は、2024年度の更新の手続きを直しくお願いいたします。

大阪福祉事業財団を応援して下さる方は、すみれ乳児院(06-6958-6066)までお願いします。



すみれ乳児院の
ホームページはこちらから



@SUMIRENYUJIN



これからの3カ月の行事予定

- | | |
|-----|---------------------|
| 11月 | 七五三 親子遠足
城東福祉まつり |
| 12月 | クリスマス会 |
| 1月 | 初詣 新年会
ドーナツパーティー |



【編集後記】

異常な暑さが長く続いて秋がやってくるのか心配していましたが、急に涼しい風が吹いてほっとしました。夏の疲れで大人も子どもも体調を崩しませんように。
(松原)